

地域の人とふれあい ～冬季工作教室～



ヒツジの飾り物を作る子どもたち

12月23日(火・祝)に珍珠地区育成協主催の冬季工作教室が開催されました。幼稚園児・小学生27名、協力者・関

係者・保護者合わせて32名の示唆・支援で、プラタナスの木を素材にした干支シリーズ「ひつじ」(羊・未)の置物を作りました。作業に先立ち、完成品が出来上がるまでの詳しい手順の説明がありました。2時間の制約から、素材を切る・削る・磨く・色を塗るなどの工程があらかじめ施された本体が渡され、①毛羽布をボンドで貼り付ける②脚を取り付けるの活動をして、耳や尻尾を

取り付けてもらって仕上げました。きつちりと毛羽布を巻きつけ、脚がぐらつかないようバランスよく取り付けることが作業のポイントでした。むだ話をしないできちんと並んで順番を待つ姿が立派でした。おやじの会の方々の調理によるカレーの昼食を協力者の方々とテーブルを共にし、親しくなごやかなふれあいの時をつくらることができました。



珍珠中 厳寒の中 強歩大会 実施!

寒波で震え上がった12月19日、珍珠中では2回目の強歩大会を全学年で実施した。昨年は3年生がいない時期に実施したが、全学年揃っての想い出づくり、そして団結にとこの時期に計画された。コミュニティスクールの特性を生かして、地域『協育力』向上支援事業として、地域の多くの方の支援をいただいた。自称晴れ男の宗岡校長は晴れは引き寄せてくれたものの、珍珠の寒さは甘く見ていたのか、身も凍る寒さの中、コースの変更・凍結にも



配膳するコミュニティ女性部の皆さん

食材は生徒の各家庭からの持ち込みで、たくさん集まったが、里芋がどうも足りないらしいと聞きつけた地域の方が、農家の方から分けていたで、当日わざわざ持ち込んでいただいたりもした。これぞコミュニティスクールだと言える連携でつくりあげ、子どもたちの『美味しかった!』の丁寧なお礼の言葉に腰をさすったところです。保護者の皆様、地域の皆様、沿道での応援サポートの皆様、心から感謝を致します。

協育コーディネーター
岩尾純子

くすふれあいホール図書館 ～今月の新刊紹介～



植松 三十里 著
「リタとマッサン」



風 カオル 著
「ハガキ職人タカギ!」

今月の新刊紹介 ~ NHK朝のドラマで話題! 国産ウイスキーを育んだ夫婦愛『リタとマッサン』と、第15回小学館文庫賞小説賞受賞の大分在住、風カオルさんのデビュー作。イマドキの若者の生態にスポットを当てた、新感覚青春ユ一モア小説『ハガキ職人タカギ!』です。

図書の貸出しを希望の方は、事務室に声をかけて下さい。
土・日・祝日の貸出しはできません。



新春子ども祭り



とき 1月10日(土) 午前9:30~
ところ わらべの館・三島グラウンド周辺

子どもから大人まで楽しめる内容もりだくさん!
ご家族揃ってお越し下さい!

(内 容)

- 9:30 開会式
- 9:40 つのむれ登山(歩きやすい服装でね!)
- 10:00 昔の遊びコーナー(昔懐かしい正月遊び体験)
- 11:30 三島鍋・もちつき(豚汁・おもち無料)
- 13:00 わらべ劇場(人形芝居公演)
- 14:00 終了予定



参加無料!

主催: わらべサークル協議会